

研究協力についてのお願い

軟部肉腫は、筋肉や骨などにできる腫瘍です。これらの疾患における遺伝子異常解析は、その発生頻度が低いため、他の悪性腫瘍に比べ十分に行われておりません。

私たちは、このような肉腫・軟部組織腫瘍の病態を解明するため、遺伝子異常解析を行っております。

私達は、下記のようにヒトゲノム・遺伝子解析研究を実施しております。本研究は京都大学医の倫理委員会の承認を得た上で、個人情報特定できない形で既存の病理標本等からの解析や過去のカルテ等からのデータ収集を行っております。しかし、患者さんがご自分の試料・情報を使用して欲しくない場合は、これを拒否することも可能です。

「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」に基づいて本研究に関する情報公開をいたします。

・研究計画名

『固形腫瘍における遺伝子異常の網羅的解析』

・研究の意義・目的

がんに生じた遺伝子異常を調べることで、病気の特徴を理解し、治療成績の向上を目的とします。

・研究期間

2014年2月6日～2018年3月31日（延長する場合があります）

この研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会において審査を受け、研究機関長の許可を受けています。

・研究対象

粘液線維肉腫を中心とする軟部肉腫

これらの疾患について1990年以降に京都大学医学部附属病院および下記共同研究施設において診断された方は本研究の対象となる可能性があります。

全エクソーム解析のみで同意を頂いた症例も全ゲノム解析を行う場合があります。全ゲノム解析は、マクロジェン・ジャパンおよびBGI JAPANなどの受託サービスを利用するため、抽出したDNAを海外に郵送し、全ゲノムシーケンスを行う可能性があります。個人情報に関しては、一切提供せず、かつ、データ解析も外部では行いません。

・研究方法

上記研究対象の既存の病理標本から DNA、および/または RNA を抽出し、解析を行います。また、臨床情報(年齢、性別、治療内容とその効果、検査データなど)を診療録から収集し、臨床経過を調べます。

個人情報(個人が特定できるような情報)は厚生労働省の指針に従い厳重に管理します。各研究施設において本研究固有の症例番号により匿名化を実施します。

・研究実施施設

代表研究機関

京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学講座

研究責任者：小川 誠司

共同研究施設

【検体提供】

京都大学医学部附属病院 病理診断科 羽賀博典
ベルリン医科大学 血液腫瘍内科 Frederik Damm

【ゲノム解析】

東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター 宮野 悟

・研究参加拒否の自由

研究への参加拒否は自由であり、すでに試験に登録された方も、ご本人またはその代理人の求めがあれば、同意の撤回を行うことが出来ます。それにより不当な医療上の不利益は発生しません。京都大学医学部附属病院を受診された方は下記にご連絡ください。その他の共同研究施設を受診された方は各施設の担当者(上記)までご連絡ください。頂いた情報や検体を破棄いたします。ただし、すでに解析を終了し学術誌などで発表されている場合にはその結果を破棄することが出来ない場合があります。

・本研究に関する問合せ

本研究に関して他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。その他、ご不明な点や相談など、下記までお問い合わせください。

京都大学医学部腫瘍生物学講座

〒606-8501

京都市左京区吉田近衛町 医学部 F 棟 2 階

TEL : 075-753-9285